

市民からの意見・要望に対する鹿屋市議会の回答

参加者の意見・要望	鹿屋市議会としての回答 (1回目)	鹿屋市議会としての回答 (2回目)
<p>オスプレイの事故原因がはっきりするまで、議会として反対し再度交渉すべきではないか。</p>	<p>議会において、今後検討することとしました。</p>	<p>在日米軍再編に関する空中給油機KC-130の海上自衛隊鹿屋航空基地への訓練移転については、沖縄の基地負担軽減の一翼を担っており、関係自治体だけでなく我が国全体で考えるべき大きな課題です。このことから、本市議会において、市民の安全安心が担保できるよう防衛省に強く働きかけることなど、市民の安全安心を最優先することを大前提としつつ、国民の生命・財産・領土・領空・領海を守るという目的のもと、平成27年9月定例会において訓練移転の賛同について決議したところです。現段階では、今後も市民の安全安心を最優先することを大前提に、オスプレイの事故の原因等に関する国の取扱いの動向を見極めながら判断してまいりたいと考えております。</p>
<p>類似都市の霧島市や薩摩川内市よりも議員定数が多い理由は何か。</p>	<p>議会において、今後検討することとしました。</p>	<p>市議会議員の定数については、面積や人口だけをもって比較するのではなく、市の特性を考慮しながら決定することになっており、合併した市町村の数等、まずは、その市の特性によって定数は異なるとご認識いただきたいと思えます。本市の場合、平成18年1月の合併後、これまで48名の減に取り組み、28名としているところです。しかしながら、現時点では、類似都市よりも多くなっており、更なる削減を望む声もあることから、今後、議会改革に関する特別委員会の設置も視野に入れるなど、広く市民の皆様の声をお聞きしながら、改めて協議することとしています。</p>
<p>昨年の議会報告会の議員定数削減の回答「総合的に勘案して」ということの内容を具体的に説明してほしい。類似都市より多い理由は。</p>	<p>議会において、今後検討することとしました。</p>	<p>議会運営委員会において、「削減すべき」、「現行を維持すべき」等、いろいろ意見が出された中、「鹿屋市議会として、第二次鹿屋市議会改革特別委員会において人口10万人を割った時点で再度検討するとの意見があった」ということや、「特別委員会を設置し、周知期間まで設けるとなると2年間は必要」ということなどを含めて、「総合的に勘案」という表現を用いたところです。このことから、今後、議会改革に関する特別委員会の設置も視野に入れるなど、改めて協議を行うこととしています。</p>
<p>昨年は5日間で11会場118名参加している。今年はなぜ4会場なのか。小学校単位でできないのか。</p>	<p>議会において、今後検討することとしました。</p>	<p>平成29年度の議会報告会の会場については、いろいろな開催方法を模索した上で協議をした結果、4会場としたところです。また、広く多くの市民のみなさんと意見交換を行うことは重要という認識は議員全員一致しているところであり、今後、小学校単位での開催を含め、議会改革に関する特別委員会の設置も視野に入れるなど、議会報告会の在り方についても検討を行ってまいります。</p>